

守ろう!「市の魚」アユモドキ

～産卵時期にあわせ救出活動を実施～



救出されたアユモドキ

「市の魚」であるアユモドキは、国の天然記念物であり、環境省レッドデータブックの絶滅危惧種に指定されている希少な淡水魚です。亀岡市は全国でも数少ない生息地で、地元の保津町自治会やNPO、環境省、京都府などの関係機関と連携しながら、保護活動に積極的に取り組んでいます。

毎年6月初め、川から水田に水を取水するため農業用の可動堰(ゴム製のダム)が立ち上げられると、アユモドキは産卵期を迎えます。ダムの上流で川の水位が上昇して草木が水に浸かり、氾濫原環境が現れると、そこが産卵場所となるのです。このように、ダムが立ち上げられることで、アユモドキの産卵環境が創出される一方、ダムより下流に生息しているアユモドキは自力で遡上することができなくなりま

す。そのため、ダム立ち上げ時に一時的に濁水する下流部に取り残されたアユモドキを人の手によって救出し、個体数などを調査しながら産卵に適したダムの上流に戻し、繁殖を促す救出活動を、毎年行っています。

今年6月2日、農業用ダムの立ち上げに合わせて救出活動を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より参加人数を約半

数にまで縮小しての実施でしたが、39匹のアユモドキを救出することができました。また、サンガスタジアムby KYOCERAの完成後、初めて行う救出活動となりましたが、一定の個体数が確保されており、生息環境の保全は順調に進んでいるものとみられます。



農業用ダム下流での救出作業

アユモドキは、人の生活の営みと共生してきた魚です。時代の流れとともに農業手法の変化や河川整備によって環境が変わり、その存続が危ぶまれています。亀岡市は今後もアユモドキを環境のシンボル「市の魚」として守り、保護活動に取り組んでまいります。



救出は1匹ずつ、手作業で行います

愛称は「かめきたサンガ広場」に 新しい憩いの場、公募で決定

3月1日から供用を開始した「JR亀岡駅北駅前広場」は、サンガスタジアムby KYOCERAに隣接し、ステージ付きの芝生広場、子ども用の遊具や噴水などのほか、各種イベント会場、家族連れの憩いの場として利用できる亀岡の新しいスポットです。

この広場により親しみでもらおうと、令和2年3月1日から4月20日までの期間、「愛称」を公募。158件の応募があった中、桂川市長や各種関係団体からなる愛称選考委員会にて審査をしたところ、市内在

住の前島よし子さんの作品「かめきたサンガ広場」が最優秀賞作品に決定しました。6月12日、亀岡市役所で行われた表彰式では、桂川市長から「かめきたサンガ広場」は、わかりやすく、市民の皆さんの愛着が湧く愛称です。今後、こ



新たなスポット、かめきたサンガ広場

の愛称が市内外問わず広く愛され、多くの人に利用いただきたいと思っております」と、記念品と副賞が贈られました。前島さんからは「スタジアムができる前から、駅北に何度も足を運んでおりました。『亀岡の駅北』と、『サンガが亀岡に来た』をかけ、この愛称を考えました」と、愛称を考えついたいきさつを話してくださいました。

今回ご応募いただいた皆さん、ありがとうございます。今後も「かめきたサンガ広場」をにぎわいと憩いの拠点として、市民の皆さんに利用してまいりますので、よろしくお願いたします。

やさしい健康講座

第145回



鳴村歯科医院 院長 鳴村 浩一

市民の皆さんの健康に関して、今回は亀岡市歯科医師会の医師が、専門分野についてアドバイスをします。

人は歯周組織の痛んでいる場所から容易に体内に侵入し(ウイルスは細菌の1/10,000位の大きさ)感染しやすくなります。一旦歯周組織に入ったウイルスは毛細血管の中に入り全身を廻ります。特に抵抗力の弱っている人は血管内でウイルスや菌が増殖し敗血症、または免疫応答の中で血栓が形成されやすくその血栓が飛んで心臓・脳血管や腎臓で梗塞が生じやすくなります。

市民の皆さんの健康に関して、今回は亀岡市歯科医師会の医師が、専門分野についてアドバイスをします。WITHiコロナ時代の口腔ケア！ COVID-19の蔓延は生活を大幅に変化させました。「歯科治療には感染リスクがある」と部マスクが煽る事がありましたが専門家は事実を確認・分析して「口腔内を清潔に保つ事は寧ろウイルス感染を抑制する」事を示しました。口腔内細菌の悪玉菌はタンパク質を溶かす酵素を出し歯周組織に入り込み歯肉腫脹、歯牙動揺、時には口臭を引き起こします。ウイルスはDNA(SARS-CoV-2はRNA)の周りにタンパク質の膜が覆っているだけの構造です。悪玉菌の多い口腔ケアは「8020運動」の主旨である「食事が生涯にわたって美味しく食べる事を応援する」から「感染から身を守り健康的な生活を応援する」と変化しています。口腔ケアは健康そして命を守ります。COVID-19は病名で「CO」は「corona」、「VI」は「virus」、「D」は「disease」の意味。一方、ウイルス名については、SARSを引き起こすウイルス(SARS-CoV)の姉妹種で「SARS-CoV-2」と現在は名付けられています。将来的に名称変更の可能性があります。